

ハローワーク名古屋中 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【就職件数の確保】

新規求職申込件数が減少傾向にある中、就職件数の目標達成に向けて紹介件数の確保を重点的に推進することとし、過去の実績に基づく紹介成功率の見込みから就職件数の目標達成が見込まれる紹介件数を算出し、職業相談部門別に目標値を設定しました。職員・相談員の意識の徹底を図るために進捗状況を毎日指示するなどの可視化を実施しました。

【雇用保険受給者の早期再就職】

雇用保険受給者への早期再就職対策として、全員相談している初回認定日には求職条件を把握のうねニーズに応じた求人情報の提供を積極的に行い、早期就職の意識付けに努めました。

また、雇用保険受給終了後に就職する者も一定数いることから、ハローワークの就職支援への期待度が高い求職者に対し、支給終了ひとつ前の認定日に一般求職者を対象としている職業相談部門へ誘導し、求職活動状況や求職条件を把握のうねニーズに応じた求人情報提供等を行うことで、受給終了後のハローワークの継続的な利用を促しました。

【働き方改革及び求人充足】

・平成30年6月から愛知労働局において「働き方改革等推進企業に係る求人充足対策（特別プログラム AICHI WISH 事業）」を実施していますが、令和元年度は幹部による事業所訪問等を積極的に行い、制度周知、認定の推奨を実施するとともに、認定企業に対する求人充足サービスを展開しマッチングの向上を図りました。認定企業に対する主な求人充足サービスとして重点的に取り組んだ事項は、以下の①、②のとおりです。

- ① 求人者担当及び求職者担当がペアで事業所訪問し情報収集した内容について、所内紹介部門スタッフを集めた説明会で周知することで情報の共有を図りました。
- ② 認定企業を対象とした AICHI WISH 就職相談会を全所的な協力のもと年3回開催しましたが、企業プレゼンの実施や見える化した企業情報の事前配布など、所内で意見を出し合いながらやり方を工夫しました。

・企業を対象に、「IT導入・活用セミナー」、「IT機器！RPA体験セミナー」、「企業支援セミナー（2月開催）※内容：人材確保及び求人者マイページについて」等のセミナーを開催し、働き方改革に係る取組を推進しました。

なお、「企業支援セミナー（3月開催）※内容：社員育成の研修及び助成金の活用について」は開催予定で参加募集していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

【就職氷河期世代の支援】

令和2年度から本格的に展開される就職氷河期世代の支援について、当所は先行して実施することとなりましたが、わかものハローワーク（45歳未満）と職業相談第二部門（45歳以上）にそれぞれ専用窓口を設け、担当者制による就職支援を始めました。氷河期世代への支援の第一歩として、令和元年12月に名古屋市内3所と津島所、桑名所（三重局）が合同によるセミナーを併設した就職面接会を開催しましたが、準備においては事業所への丁寧な説明を心掛けて氷河期世代限定・歓迎求人を積極的に確保し、また、支援対象者への専用窓口への登録に努めました。

また、集客と外部への周知のため、自治体、商工会、地域若者サポートステーション等にも声掛けし、ハローワークの取組への協力についても依頼しました。（参加企業数24社、求職者数196人、延べ面接者数178人、紹介件数91件）

【障害者の就職促進】

障害者の就職促進について、専門援助第三部門、あいち障害者雇用総合サポートデスク、支援機関の連携を強化し、支援機関への職場実習候補事業所リストの提供、実習候補者リストの整備・活用により、職場実習のマッチングを積極的に推進しました。

また、相談窓口において、支援機関未利用者に対し支援機関に関する説明を丁寧に行ったうえで積極的に誘導し、チーム支援を増やすことでより手厚い支援を実施し就職件数の増加を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

【応援体制の構築、連携・誘導】

・庁舎移転により本所と付属施設が一体となったことで、今まで以上に全所的な応援体制を構築することができました。雇用保険適用課、給付課、学卒部門の各業務繁忙期、ハローワークシステム刷新による求人部門への応援により、利用者の待ち時間短縮、求人者への求人票の早期返戻を図りました。

・雇用保険受給者に対する個別支援については、本所の 1 名の早期再就職担当者だけでは受入が十分とは言えないことから、個別支援が効果的と思われる若年求職者については、相談状況伝達メモを作り、わかものハローワークへ同行して誘導しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【求人充足サービス】

「働き方改革等推進企業に係る求人充足対策（特別プログラム AICHI WISH 事業）」は令和 2 年度末で終了することとなりましたが、認定企業に対する求人充足サービスは充足に一定の成果があり、また紹介担当者の知識向上につながることから、今後は認定企業に限らず良質求人事業所を開拓し、企業支援部門と職業紹介部門の連携により更なるマッチングの向上を図っていきます。

【働き方改革及び求人充足】

Web 面接については近年導入が注目されていますが、特に年度末における新型コロナウイルスの影響もあり、新卒応援ハローワークやわかものハローワークから紹介する際、Web 面接とする事業所が増えてきています。また、民間が開催する就職相談会においても、Web 面接会に切り替えたスタイルもみられます。

その一方で、Web 面接について経験のない新卒応援ハローワークやわかものハローワークの利用者は、慣れない面接に戸惑い、応募することを躊躇する傾向もみられます。そのため、来所する求職者が Web 面接に適応できるような面接トレーニングを導入することとしました。

なお、具体的な内容については今後検討していきます。

【マイページを活用した】

「クイック支援大作戦」として在職求職者に対するマッチング求人と利用勧奨文を送付していましたが、ハローワークシステム刷新により自宅でもハローワークと同じ内容の求人が閲覧できるようになったことから、今後は求職者マイページの登録を促進して、良質と思われる求人を抜粋して求人情報を提供していきたいと考えています。

【異業種への職種転換の推進】

令和元年 11 月から月 4 回(週 1 回) で開始した「お仕事研究セミナー」は、企業が業界及び自社の魅力や働きやすさ等について企業自ら求職者に発信し、見学会への参加、応募へつなげる取組です。令和元年度は人材不足分野（介護・看護・保育・建設・警備・運輸）の企業

を対象に実施し、2月末以降は新型コロナウイルスの影響で中止したものの、参加した15社中9社、計11人の採用に繋がりました。当該セミナーは効果的だと思われるため、令和2年度は、月4回のうち1回を人材不足分野以外の企業を対象とし拡充していく予定です。

なお、新型コロナウイルスの影響によるサービス業離職者や就職氷河期世代を対象とした支援としても活用していきたいと思っております。

(4) その他業務運営についての分析等

【人手不足分野への対策】

人手不足分野に特化した人材確保対策コーナーは設置され3年目となりますが、今までのノウハウを活かし各種イベントを開催すると共に関係団体や自治体との連携強化に取り組みました。新庁舎移転後は本所と同じビルとなったことから他の紹介部門から人材確保対策コーナーへの誘導がしやすくなり、業界に詳しい担当者による一貫したきめ細かな支援により所重点指標「⑨人手不足分野の就職件数」における目標達成にも繋がりました。

【移転による影響】

・令和元年2月25日付けで当所が移転し、それまで別ビルに分散していた外部施設が集約されました。この移転の前後における本所及び附属施設の平均シェアを見ますと、名中本所70.6%で過去3年の平均シェア比11.9ポイント上昇しており、これはハローワークプラザ名中（移転時に廃止）の過去3年の平均シェア12.1%分を受け入れたに等しい割合となりました。

また、昨年度のマザーズハローワークのシェアは8.8%（過去3年間の平均シェア比0.7ポイント低下）、わかものハローワークは同8.7%（同比変動なし）、外国人雇用サービスセンター同6.6%（同比0.8ポイント上昇）、新卒応援ハローワーク5.3%（同比0.2ポイント上昇）となりマザーズハローワークでシェアが低下したものの、他の施設では僅かに上昇しています。

なお、新規求職者の動きを前年度と比較すると、本所が25,506人で前年度比5.7%増、マザーズハローワークが3,373人で同17.5%の大幅減、わかものハローワークが3,320人で同0.3%増、外国人雇用サービスセンターが2,504人で同4.7%増、新卒応援が2,039人で同1.7%増となりました。しかし、ハローワークプラザ名中の閉鎖に伴う4,067人の減少及びマザーズハローワークの715人の減少により、全体としては減少となりました。

・職業訓練においては、近隣に委託訓練施設が多くあるため、平日夕方（火・木曜日の夜間延長を含む）に訓練を終えた求職者が当所を訪れ相談する状況がみられ、本所の求職者、紹介、就職件数の増加に反映しています。（本所：新規求職26,949件 前年度比5.7%増、紹介件数34,580件 同18.5%増、就職件数5,745件 同6.4%増）

・わかものハローワークは、移転により閉庁時間が18時から17時15分に変更となった影響等で、年度当初は新規求職者の前年同月比減少が目立ちましたが、2階職業相談第二部門（主に一般求職者）及び4階の職業相談第一部門（主に雇用保険受給者の職業相談）との連携による新規求職者の誘導を積極的に行ったことにより、年度末には前年度を上回る新規求職者の確保に繋がりました。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

【新型コロナウイルスの影響】

- ・令和2年2月頃から、新型コロナウイルスの影響で求職者が来所や応募を控えるようになり、また、事業所が採用活動を見送るケースも出てきました。マザーズハローワークの3月新規求職者数が前年同月に比べ4割以上減少した要因は、新型コロナウイルスの影響が大きいと思料されます。
- ・当所としても新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和2年2月末以降は就職相談会等のイベント、企業向け及び求職者向け各種セミナーを中止しました。そのため、従来の支援を行うことができず、各種取扱数値に影響を及ぼしていると考えられます。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターによる正 社員就職件数 として記載	公的職業訓練 終了3か月後 の就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職 率	正社員求人数 (必須指標)
実績	7,583	11,067	3,056	30.9%	39.3%	960	5,344	532	92.8%	88,801
目標	8,149	11,830	2,713	32.6%	41.4%	911	5,574	397	92.7%	96,374
目標達成率	93%	93%	112%	94%	94%	105%	95%	134%	100%	92%

	正社員就職件 数(必須指標)	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件 数	その他、安定所 と労働局が調整 し設定するマッ チング業務指数
実績	3,677	1,498	270	20.8%
目標	4,119	1,391	245	14.2%
目標達成率	89%	107%	110%	146%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率